

『疾患横断的な術後せん妄予測バイオマーカーの開発』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2019年1月1日より2024年12月31日までの間に脳神経外科で脳神経外科疾患で全身麻酔手術を受けた65歳以上の方

【研究期間】

2023年4月1日より2027年3月31日まで

【研究代表者】 国立がん研究センター 中央病院 精神腫瘍科 松岡 弘道

【研究責任者】

国立循環器病研究センター：加澤 昌広

国立精神・神経医療研究センター：木村 唯子

慶應義塾大学先端生命科学研究所：杉本 昌弘

東京慈恵会医科大学：上園 保仁

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

本研究は、術後せん妄の予測指標に対して、疾患横断的な有効性（疾患によらずに術後せん妄を予測するか否か）を、多施設で検討することを目的とします。国立がん研究センター中央病院、国立循環器病研究センター、国立精神・神経医療研究センターのバイオバンク試料と、術後せん妄に関する診療情報を活用し、先行研究で開発している術後せん妄予測指標の疾患横断的な有効性について検討を行います。

国立がん研究センター中央病院、国立循環器病研究センター、国立精神・神経医療研究センターのバイオバンク試料は、国立がん研究センター研究所または慶應義塾大学先端生命科学研究所へ送付され解析されます。データの取りまとめ機関である国立がん研究センターへの術後せん妄に関する診療情報の提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。本研究で収集した情報は、本研究の目的と

関連が深い別の研究に将来的に利用することもあります、実際に行う際には適切な手続きを踏んで行います

【利用又は提供する試料・情報等】

試料：血液

情報等：診療録（年齢、性別、手術時間、診断名、ベンゾジアゼピン系薬剤・非ベンゾジアゼピン系薬剤・ラメルテオン・オレキシン受容体拮抗薬の定期使用有無、併存疾患、せん妄の評価に関わる看護師記録・医師記録）

提供する試料・情報の取得の方法

試料：診療の一環で採取

情報：カルテの診療録から入手

【共同研究機関】

国立がん研究センター：松岡 弘道

国立循環器病研究センター：加澤 昌広

国立精神・神経医療研究センター：木村 唯子

慶應義塾大学先端生命科学研究所：杉本 昌弘

東京慈恵会医科大学：上園 保仁

【共同研究機関以外の試料・情報を取り扱う機関】

無し

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属 脳神経外科 氏名 木村唯子

電話番号

e-mail: yuikkmr※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）